

## 様式第五十の二（第48条第6項関係）

### 認定事業適応計画の（中間）実施状況の概要の公表 （令和3年度）

#### 1. 認定の日付

令和4年1月31日

#### 2. 認定事業適応事業者の名称

株式会社スギ薬局

#### 3. 認定事業適応計画の実施期間

2022年2月～2026年2月

#### 4. 認定事業適応計画の実施状況

##### （1）事業適応計画に係る事業の目標の達成状況

株式会社スギ薬局は、本計画において、店舗とデジタルを融合し、顧客の病気予防・健康管理に生涯に渡って関わり、一貫したケアサイクルの中で健康管理を実現し、顧客生涯価値（ライフタイムバリュー）の最大化による企業価値の向上を推進している。

この計画のうち、2021年度においては、ID統合管理システムにおける投資およびAIカメラの導入を開始した。ただし、ID統合管理システムについては、顧客へのデータ統合承認機能およびその実施が遅れており、実際に事業供用の時期が2022年3月にずれ込んでいること、またAIカメラに関してはこれを分析するソフトウェアの開発が遅れていることにより、売上実績が翌年にずれ込んでいるため、2021年度の売上実績は0円になった。

##### （2）生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標の達成状況

2021年度においては、ID統合管理システムによる顧客に合致する販売促進活動の実施の初年度であり、当初見込み売上高は約1,674千円を目標としてきたが、上記1.（1）に記載の通り、事業の用に供するタイミングが翌年度へずれ込んでいる状況から、売上高実績は0円になった。しかし、実際に投資は進んでいる状況にあること、また事業供用のタイミングも2022年3月という短期的な修正であることから、見込み売上に関しては達成できる見込みである。

##### （3）財務内容の健全性の向上を示す目標の達成状況

財務内容の健全性の向上指標については、2021年度は有利子負債/CFが▲2.1倍となり、経常利益収支比率が100.8%となった。

##### （4）実施した事業適応計画の内容

2021年度においては、ID統合管理システムにおける投資およびAIカメラの導入を開始した。ただし、ID統合管理システムについては、顧客へのデータ統合承認機能およびその実施が遅れており、実際に事業供用の時期が2022年3月にずれ込んでいること、またAIカメラに関しては

これを分析するソフトウェアの開発が遅れていることにより、売上実績が翌年にずれ込んでいるため、2021年度の売上実績は0円であり、投資額で除した値も0となった。